

平成 21 年度香港高校生訪日団が来日 東京と山梨で交流

平成 21 年度香港高校生訪日団(団長・廖亜全 宣道会陳朱素華紀念中学 校長)が、7 月 8 日から 16 日まで来日した。同団は中国の特別行政区である香港から選抜された 55 名で構成され、今年が二度目の招聘となる。一行は環境セミナー、歓迎レセプションなど公式行事の他に、東京と山梨で学校交流や合宿交流を行い、日本の高校生と友情を育んだ。

日本文化や体育の授業に参加

来日の翌日、大東文化大学第一高校で女子は茶道や家庭科、男子は体育の授業に参加した。高校生たちは初めての日本の授業に、目を輝かせていた。どれも香港にはない授業だったため、最初は皆、戸惑い気味だったが、慣れてくるにつれ、日本の高校生と同じように元気に参加した。昼食はカフェテラスで弁当を囲み、双方の高校生が入り混じって楽しくランチタイムを過ごした。

環境セミナーでは、「俯瞰的に見た地球環境問題」をテーマに、千葉工業大学惑星探査研究センターの松井孝典所長の講演を聞いた。外務省日中研究交流支援事業で編さんされた『地球環境読本』をテキストに、パワーポイントを使った分かりやすい内容で、高校生たちからもたくさんの質問が出された。

歓迎レセプションでは、外務省アジア大洋州局 小原雅博参事官から、流暢な英語で歓迎の言葉があった。また、参議院議員の内藤正光氏、尾立源幸氏、川田龍平氏が出席し、香港高校生へ青少年交流の期待とエールが送られた。午前中に交流した大東文化大学第一高校の生徒も駆けつけ、迫力のあるダンスを披露し、香港の生徒も日本のアニメソングを日本語と広東語で発表し、喝采を浴びた。

東京ではこのほか、有明清掃工場や本所防災館、東京都北区防災センターを参観した。実際に工場内を見学したり、地震や消火の体験を通じて日本の環境保護の技術や、防災意識の高さを学び、帰国後に家族や友達に伝えたいとの感想が寄せられた。



日本語と広東語でアニメソングを披露
(於：歓迎レセプション)

合宿交流でカレー作りとキャンプファイヤーを体験

山梨県では県立石和高校の生徒と合宿交流を行い、共同で野外カレー作り挑戦した。慣れないかまどでの火おこしや、飯盒炊爨はとても大変だったが、協力して作ったカレーに皆、大満足だった。キャンプファイヤーでは友情の炎を灯し、お互いの言葉で歌を歌ったり、クイズ大会で大いに盛り上がった。

翌日の学校交流では、全校生徒が待ち構える体育館での歓迎会に出席した後、英語を始め、地理や化学の授業に参加した。各クラスで自己紹介をしたり、住んでいる場所や流行っている物を紹介し合ったりして会話が弾んだ。午後は国際教養科の生徒と一緒に県立博物館を見学。実際に昔の衣装を着たり、おもちゃで遊んだりするグループや、輪になって話に夢中になっているグループもあり、様々な交流が繰り広げられた。合宿交流から1日半を一緒に過ごした石和高校生徒もおり、別れの際には涙ぐみ、お互いに写真を撮ったり抱き合ったりしていた。



山梨県立石和高校の生徒と野外でカレー作りに挑戦（於：山梨県立愛宕山少年自然の家）

交流終了後に、小松重仁 山梨県副知事への表敬訪問と、山梨県オリエンテーションが行われ、生徒たちは交流の感想や山梨県の印象を積極的に発言した。梅雨の時期も関わらず、ずっと天候に恵まれ、心待ちにしていた富士山を仰ぎ、昇仙峡などの自然を見学して、とても充実した山梨滞在となった。

訪日団は、日本でできた友人たちとの思い出や、香港では得難い経験を胸に、7月16日に成田空港から全員無事に帰国した。本団の受け入れにご協力いただいた外務省、文部科学省、中国大使館、香港駐東京経済貿易代表部、山梨県観光部国際交流課、学校関係者、関係団体の皆さまに、この場を借りて厚く御礼申し上げたい。

香港高校生感想

日本の印象は？

- ・日本人の科学技術は応用が非常に素晴らしいと思いました。教育はもちろん、防災や環境保護の各方面においてもハイテク化され、私は目の前がぱっと明るくなりました。また、自然生態系と科学技術の発展において、十分にバランスが取れていると感じました。日本人は大都市のハイテクを発展させるとともに、美しい大自然を維持しており、すごいと感じました。
- ・私は日本人の心遣いの細やかさ、友好的で親切なこと、もてなしの文化を感じました。
- ・日本は現代的な先進都市の一面を持ちながらも、風景には人を和ませる、すがすがしい大自然の一面が備わっていました。

学校訪問・交流の感想

- ・日本の高校生との交流活動はとても面白かったです。特に大東文化大学第一高校の体育の授業と、山梨県立石和高校の学生との合宿など、身近に日本の高校生を理解することができたし、おしゃべりや団体活動を通じて、すぐに友情を築くことができました。
- ・石和高校で私は総合科学の授業を受け、初めて校庭で花火を製作しました。香港では体験したことがなかったので、貴重な体験となりました。
- ・大東文化大学第一高校での家庭科の授業は、とても印象深い体験でした。家庭科の先生が教えてくれたお菓子は日本の特色に富み、作り方も簡単なので、香港に戻ってから自分で作るができると思います。
- ・山梨県立石和高校の学生はとても友好的でした。英語での会話は難しかったですが、誠実な態度と熱い思いで、コミュニケーションを取ることができました。心が通い合う友人に出会うことができました。
- ・お昼ご飯をみんなで一緒に食べて、博物館にも行って、とにかくお互い理解しあえました！最後には皆、「君のこと、大好きだよ」とまで僕に言ってくれたので、僕はすごく感動しました！
- ・私達が別れなければならない時、ある女学生が私を抱きしめたので、私は本当に泣きそうになりました！日中間にある以前からの大きな溝は、こんなにも簡単に越えることができるのです。「一期一会」という四字は、私達には当てはまりません。

合宿交流の感想

- ・合宿した日は交流活動の中で一番楽しかったです。同じ部屋に泊まった彼女達はとても親しみやすく友好的で、私のことに気を配り、積極的に私達に話しかけてくれました。私は日本と香港のそれぞれの文化を共有し、日本の文化をさらに理解することができました。別れの時は、皆とても名残惜しく感じました！！
- ・私は2人の高三生と3人の高二生と同じ部屋に泊まりました。私達はお互いに簡単な英語と日本語でしかコミュニケーションを取ることができませんでしたが、日中の文化と生活面における相違点と共通点について話し合いました。日本の友人は私達に日本のゲームも教えてくれました。私達はほんの短い時間を一緒に過ごしただけでしたが、とても楽しかったです。
- ・今回の合宿交流は、ものすごく楽しかったです！山梨の高校生の皆も、とっても親切でした！皆、会話を理解しようと本当に一生懸命だったし、考えていることを話

してくれて、僕にもいろいろ質問してくれました！あの晩は夜中の1時半までずっとしゃべり続けて、すごくいい思い出になりました！

- ・この経験は本当に忘れることができません！！私達はほんの短い時間を一緒に過ごただけでしたが、私は心から彼女達が好きになりました！私達は一緒にお風呂に入り、また一緒にとっても自然におしゃべりをしました。たとえお互いに言葉が通じないところがあっても、皆共感を持つことができました。
- ・私達と同じ部屋の友達の中で、一人の日本の友達がその日誕生日だったので、私達はこっそりと彼女をお祝いするために、簡単な誕生日会を開きました。そのことで私達はさらに仲良くなることができました。とても大切な友情を手に入れることができました。
- ・少年自然の家で、私達は火をおこしてカレーライスを作りました。その過程は本当に大変でしたが、できた時には皆とても満足しました。夜には一緒にトランプなどの香港で大流行している「7級豚」ゲームをしました。さらに、日本の高校生と彼女達の学校内外のことや、その他のことについてたくさん話をしました。彼女達の文化をより深く認識できたと思います。

これからの私たち

- ・香港に戻ってから日本で見聞きしたことを同級生に伝え、日本の友人とも連絡を取り続けて日中友好の交流を継続し、お互いの友情を維持していきたいと思います。
- ・防災館の見学も実に興味深い学習の機会でした。館内での体験は香港でも活かすことができ、万一、火災が起きた時にはうまく身を守ることができると思います。

日本高校生感想

- ・私は香港の高校生たちと、きなこ団子や白玉クリームあんみつを作りました。事前に材料の英語名を調べていきましたが、うまく話せるか、ちゃんと通じるかどうか、とても心配でした。しかし、すぐに香港の高校生たちに話しかけられました。みんな積極的で気さくで、私も安心して話せました。
- ・香港の人はみんな三カ国語以上話せると聞き、驚くとともに羨ましくも感じました。なぜなら、私はその日、香港テレビ局のインタビューに英語での確な受け答えができず、大変悔しい思いをしたからです。英会話に自信を持っていた自分がかっかりしました。英語を一層頑張らなければいけないと気付けたことも今回の貴重な経験となりました。

- ラグビー交流では、初めてラグビーを体験したと言っていましたが、香港の高校生みんなが仲良くラグビーをしていました。最初はみんなラグビーを知らなかったのに少し練習しただけでルールを覚え、楽しそうに交流していたので、私たちも心から楽しむことができました。この1回の交流でラグビーの楽しさを全員わかってくれたと思います。
- レセプションで香港の高校生はアニメソングを合唱してくれたので、ノリやすく手拍子で盛り上がれました。私たちのダンス発表のときもみんな温かい手拍子してくれたし、終わった後も「素晴らしい」とか「可愛い」とか褒めてくれました。最後はみんなのカメラで記念撮影をして、お別れしました。こんな短時間だったのに、本当に別れるのが嫌でした。今後、みんなに再会できたら、もっといろんなことを話したいと思います。
- 国は違っても同じ高校生だし、話している言葉は違っても、何か心通じるものがありました。住んでいる環境や言葉が異なっても、笑顔はやはり共通なのだと思えるようになって感じることができました。そして、もっと中国語を学びたいと思いました。次回、会ったときは中国語で日本について紹介できたらいいなと思いました。
- 香港の人たちはみんな目が合っただけで笑ってくれたり、話しかけてくれたりして、積極的でびっくりしました。交流する前は、そんなに話したりするのかなとか、ダンスや話しているとき盛り上がるのかなって不安もあったけれど、交流してみたらそんな不安があったことすら忘れてしまうくらい楽しめました。香港の人たちとは、男女関係なく写真をたくさん撮りました！日本人同士だったら、男の人とは写真を撮ったりしないけど、全くそんなのなくて楽しかったです。
- こんなに短い間でも絆は深まり、友達も何人もできたので、私はこの経験を絶対に忘れません。本当に参加できてよかった！この一言だけです。またこのような機会があったら積極的に参加しようと思います。
- 最初は戸惑ってばかりでした。何を話したらいいかが分からなく、心の中では「どうしよう、どうしよう」という思いばかりでした。けれど、香港の生徒さん達が慣れない日本語と少しの英語を交えて一生懸命話しかけてきてくれるうちに、自然と私も会話を楽しむことができました。
- 国や言葉は違うけれど、私たちは国境を越え、お互いにたくさんのことを学んだ。異文化を学ぶことは、とても大切なことだと私は思う。私たちの学校は、外国との交流をととても大切にしている。いろいろな国の人たちとたくさん触れ合い、お互い

のことを理解し合うことができ、とても素晴らしいと思う。

- 今回の合宿で感じたことは、「音楽の力」だ。キャンプファイヤーをした際、僕たちの高校は香港の生徒たちに GReeeeN の「キセキ」とレミオロメン「3月9日」の2曲をプレゼントした。あちらの高校生たちも歌をプレゼントしてくれたのだが、その歌は中国語で何を言っているのかはわからなかったけれど、彼らのとても心のこもった歌声に僕はこの上ない感銘をうけた。
- 合宿の夜 0:00 に私が 18 歳の誕生日をむかえた時、同じ部屋のみんなが祝ってくれました。写真を撮ってプレゼントをしてくれたり、キーホルダーをくれたりと、とってもうれしかたです。一緒に料理をしたり、泊まったり、お風呂に入ったりした仲間たちだったので別れはさみしかったです。ですが、この交流会に参加して本当に良かったです。とても濃い2日間でした。
- 2日間は終わってみるととても短く、充実したものでした。この交流で一番感じたことは、香港のみなさんは日本の歌手とかドラマを知っていて“となりの国”なんだ、ということであらためて感じ、親近感を持ちました。そして香港のみなさんと、友達になれてうれしかったです。
- 私は人見知りなのですが、香港の生徒はみんな親しみやすく、いろいろな人と話をしていました。交流の授業では5人ずつのグループの分かれ、香港の生徒と一緒に物事を考え、学ぶことができました。
- 私にとって、国際交流というのは高校に入った一番の目的なので、その第一歩が踏み出せて自分にとってのプラスになりました。たくさんいた中の数人の方ですが、とても仲良くなれて楽しく充実した時間を過ごせました。アドレスの交換もしたので、これからも少しずつでも連絡を取り合い、またいつか会えたらいいなと思っています。
- 今回の交流で自分の英語力のなさを痛感した。なかなか意思を伝えられない自分に苛立つこともあった。しかし、そういった自分を知ることで、「これから一生懸命英語を勉強して会話ができるようなレベルまで持っていきたい」と思うことができた。今回2日間という短い期間ではあったが、香港の人達と分りあえた気がする。また、自分の今後の目標を見つけることができたのは大きな成果だと思う。

訪日団日程

日	曜日	時間	予定
7/8	水	午後	成田空港着
		夜	オリエンテーション
7/9	木	午前	大東文化大学第一高等学校で学校交流
		午後	環境セミナー「俯瞰的に見た地球環境問題」 講師 松井 孝典 氏 千葉工業大学 惑星探査研究センター 所長
			夜
7/10	金	午前	早稲田大学訪問
		午後	有明清掃工場、パナソニックセンター東京参観
7/11	土	午前	本所防災館/地震の科学館参観
		午後	体験学習(押し花グッズ制作) 河口湖ハーブフェスティバル参観、桃狩り体験
7/12	日	午前	昇仙峡参観
		午後	白糸の滝参観 山梨県立石和高等学校と合宿交流
7/13	月	午前	山梨県立石和高等学校で学校交流
		午後	学校交流(山梨県立博物館参観・交流)
			山梨県表敬訪問/山梨県オリエンテーション
7/14	火	午前	富士山五合目、忍野八海参観
		午後	芦ノ湖遊覧、大涌谷、東京タワー参観
7/15	水	午前	江戸東京博物館参観
		午後	浅草、商業施設参観
		夜	歓送報告会
7/16	木	午前	成田空港発